

都市再生整備計画事業 事後評価シート  
瀬戸駅周辺地区

平成27年3月

岡山県岡山市

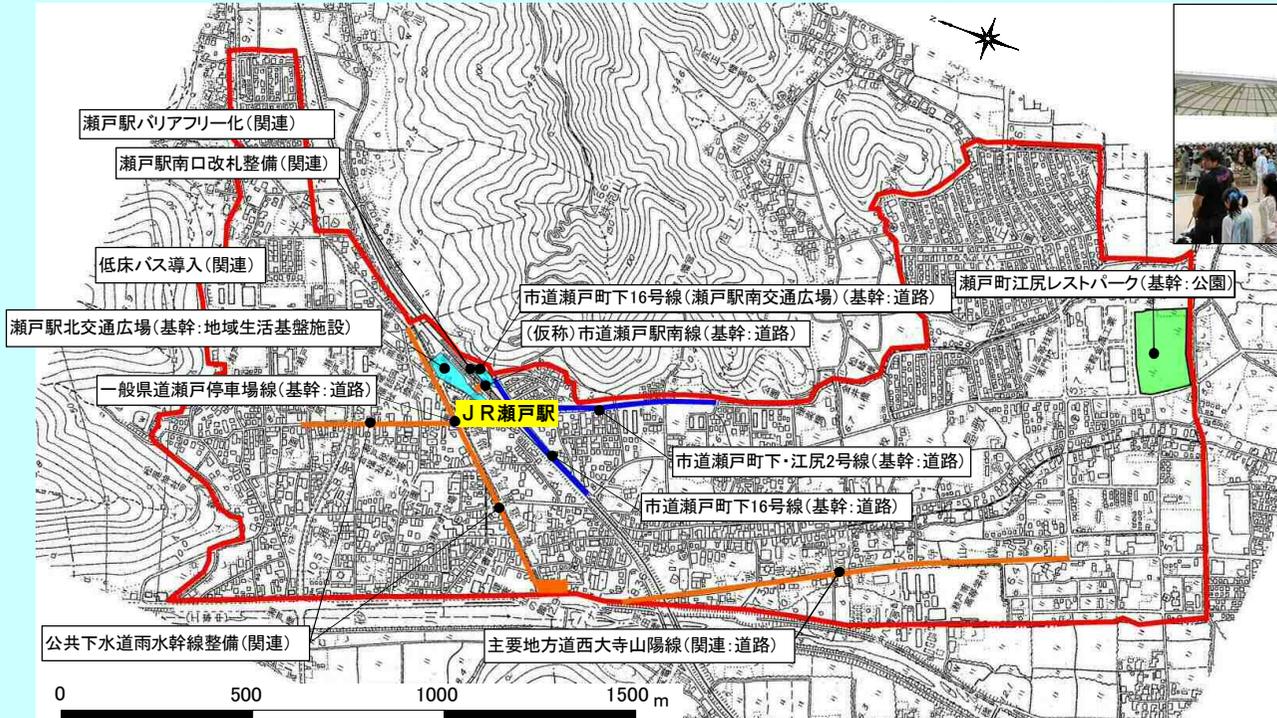
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県		市町村名	岡山市		地区名	瀬戸駅周辺地区			面積	193ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	850百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 市道瀬戸町下・江尻2号線道路整備事業、市道瀬戸町下16号線道路整備事業、一般県道瀬戸停車場線道路整備事業、(仮称)市道瀬戸駅南線道路整備事業、市道瀬戸町下16号線(瀬戸駅南交通広場)道路整備事業、瀬戸町江尻レストパーク公園整備事業、地域生活基盤施設(瀬戸駅北交通広場)整備事業									
			提案事業	事業効果分析									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	なし									
提案事業			なし										
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	駅及び周辺施設利用の不満足度	%	73	H20	36	H25	-	14	○	あり なし	事業実施により瀬戸駅の安全性・利便性が向上したことで、利用者の満足度を高めることができ目標が達成された。	-
	指標2	危険個所の歩行者等交通量	人/12h	1,209	H20	600	H25	-	707	△	あり なし ●	事業実施により瀬戸駅の利便性向上し、危険個所の歩行者自転車交通量が従前の6割まで減少したが、目標である従前値の半減までいかなかった。そのうち、歩行者交通量は従前値の5割減少したが、自転車交通量は3割減少にとどまった。	-
指標3	瀬戸町江尻レストパーク利用者数	人/年	34,639	H19	38,000	H25	-	-	-	あり なし	H23年度より公園管理形態の変更により利用者数の計測方法が変更され、目標達成の確認は困難となった。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	瀬戸町江尻レストパーク有料施設利用者数	人/年	22,781	22,781	/	-	23,345	/	/	/	瀬戸町江尻レストパークの有料利用者数を比較したところ利用者増が確認された。	-
その他の数値指標2	地域住民団体による瀬戸町江尻レストパークの利用回数	回/年	4	H19	/	-	11	/	/	/	以前と比べ、地域住民、地元小学校、保育園など地域交流・課外活動の場として利用されるようになった。	-	
4)定性的な効果発現状況	なし												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

## 様式2-2 地区の概要

### 瀬戸駅周辺地区(岡山県岡山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
駅の交通結節点機能の向上と交流拠点の整備により、新市東部の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを実現する。 ①瀬戸駅を利用する自動車・自転車・歩行者などの利便性向上と、快適な利用環境の実現を目指す。 ②瀬戸駅周辺の道路整備により、駅へのアクセス向上と安全な通行空間の創出を目指す。 ③交流拠点の整備により、地域交流の場としての利用促進、地域活性化を目指す。	駅及び周辺施設利用の不満足度	単位: %	73	H20	36	H25	14	H26
	危険箇所の歩行者等交通量	単位: 人/12h	1,209	H20	600	H25	707	H26
	瀬戸町江尻レストパーク利用者数	単位: 人/年	34,639	H19	38,000	H25	-	H25
	瀬戸町江尻レストパーク有料施設利用者数	単位: 人/年	22,781	H19			23,345	H25
	地域住民団体による瀬戸町江尻レストパークの利用回数	単位: 回/年	4	H19			11	H25



**まちの課題の変化**

- 瀬戸駅北側について、事業以前の駅前広場では歩行者と車両が混在し、危険な状態となっていたが、事業実施により歩行者のスムーズな動線の確保やバス・タクシー・一般車の送迎・待機車両の機能確保され、交通結節点としての機能性、安全性、利便性が向上した。また、アクセス道の一方通行規制、交差点改良を実施したことで、歩行者、自転車、自動車が錯綜することなく安全性が向上した。
- 瀬戸駅南側について、事業以前は駅へ行くには、幅員が狭く歩行者・自転車の通行が危険な高架下道路を通行する必要があったが、駅周辺の道路整備や交通広場・南口改札を新設したことにより、安全性、利便性が向上した。
- 瀬戸町江尻レストパーク広場整備により、公園機能の強化が図られた。また、地域の学校の課外活動や地域住民によるお祭りなどとして利用の拡大が確認できた。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 瀬戸駅周辺の利便性、安全性の持続をさせるため、関係機関により適正な管理を行っていく。
- 瀬戸駅南口駐輪場整備については、利用状況や今後の民間参入の状況を視野に入れながら、民業圧迫の課題も含め総合的に判断し、検討していく。
- 瀬戸町江尻レストパークについては現状では自発的な地域住民の利用がなされているところであり、今後も地域交流が持続されるよう、市による適正な管理・運営を行っていく。